

11課

管理の務めと宣教

〔英題: Stewardship and Mission〕

9月12日

安息日午後

9月5日

暗証聖句

あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。(Ⅱコリント 8:9、口語訳)

あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。(Ⅱコリント 8:9、新共同訳)

今週の聖句

Ⅱコリント 8～9章、ヨハネ 3:16、ヨハネ 17:5、ルカ 9:58、黙示録 13:8
ローマ 12:8、ローマ 15:26、27

今週のテーマ

Ⅱコリント8章と9章は、パウロがコリントの信徒に、ユダヤの兄弟姉妹に仕える機会を与えたことを示しています。この箇所は、「与えること」が神から私たちに与えられた特権であり、そうすることで私たちがキリストの自己犠牲的な品性に倣うことができると教えています。天国の基本的価値観は、与えることです。「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された」〔口語訳「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった」〕(ヨハ 3:16、強調付加)という驚くべき言葉に注目してください。

さらに、ヨハネ3:16は、神がイエスをお与えになった目的が、「独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るため」〔口語訳「御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るため」〕であることを明確に述べています。この箇所(Ⅱコリ 8、9章)では、管理の務めと宣教が一体となっています。両者は硬貨の表裏のように切り離すことができません。パウロが自分と同労者たちを、「神の秘められた計画をゆだねられた管理者」〔口語訳「神の奥義を管理している者」〕(Ⅰコリ 4:1)と見なしているのも不思議ではありません。同じ意味で、私たちも管理者です。

今週は、管理の務めと宣教がイエスの模範に根ざしていることを見ていきます。管理の務めは、教会に神の使命を果たすための財源や人材を提供します。

※Ⅱコリント 8、9 章はお手元の聖書をお読みください。

ヨハネ 3:16 (新共同訳)

3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

I コリ 4:1 (新共同訳)

4:1 こういうわけですから、人はわたしたちをキリストに仕える者、神の秘められた計画をゆだねられた管理者と考えるべきです。

ヨハネ 3:16 (口語訳)

3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

I コリ 4:1 (口語訳)

4:1 このようなわけだから、人はわたしたちを、キリストに仕える者、神の奥義を管理している者と見るがよい。

日曜日 9月6日 イエスの模範

Ⅱコリント8章と9章の背景には、パウロがコリントの教会員に、ユダヤの貧しい諸教会のための募金活動をやり遂げるように勧めていた事情があります。どうやら彼らはそのことをすでに約束していたようですが(Ⅱコリ 8:10、11、9:5、I コリ 16:1~4)、彼らとパウロとの人間関係の問題が事態を複雑にしていました。これらの問題を扱ったあと(Ⅱコリ 1~7 章)、パウロは今や募金活動をやり遂げることへと話題を向けます(同 8~9 章)。

まずパウロは、マケドニア州の信徒の模範に訴えます(同 8:1~7)。彼らは極度の貧しさにもかかわらず、「人に惜しまず施す豊かさ」〔口語訳「あふれ出て惜しみなく施す富」〕(同 8:2)を抑えることができませんでした。そうです、「貧しさ」と「施す豊かさ」〔口語訳「施す富」〕は共存できるのです。しかし、マケドニア州の信徒のこの賞賛すべき惜しみない心は、イエスが私たちのためにご自身をささげてくださいった惜しみない心を模倣したにすぎません(Ⅱコリ 8:8~15)。

問1 Ⅱコリント 8:9 を読んでください。この箇所は、イエスの模範について、何と述べていますか。

Ⅱコリント8:9のパウロの言葉は、聖書全体の中でも最も驚くべき、力強く、深い節の一つです。パウロはイエスの使命の物語を、驚くほどわずかな言葉で語っていますが、ここには多くの神学が込められています。これはあがないの物語ですが、それがわずか1節で語られているのです。

さらに印象的なのは、この物語が経済的な用語を用いて語られていることです。確かに、イエスは豊かでした。その豊かさとは、彼が天に先在しておられたことを指しています(ヨハ 17:5)。イエスは天の栄光を捨て、この悲しみの世に来ることで、貧しくなることを決意されました。文字どおり、貧しくなられたのです(ルカ 9:58)。イエスは神と等しい方でありながら、「自分を無にして、僕の身分となり、人間と同じ者になられました」〔口語訳「おのれをむなうして僕のかたちをとり、人

間の姿になられた」(フィリ[ピリ]2:7)。そして、「人間の姿で現れ、へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした」〔口語訳「その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた」〕(同2:7, 8)。

イエスは、私たちが彼と共に永遠に生きることができるよう、ご自分の命をささげてくださいました。イエスがご自身をささげられたことには、私たちに救うという目的がありました。管理の務めと宣教は、切り離せません。Ⅱコリント8章と9章には、ある特定の献金の話が記されていますが、この話はイエスに基づいています。今週は、キリストがご自身をささげられたことに基づき、贈り物をする〔贈り物をささげる(与える)〕という行為に関する神学的原則を学びます。

【参考】英語テキストにある英文

Dwell on the birth, life, death, and resurrection of Jesus. When you realize that all this was done for you so that you can have hope of something beyond this miserable existence here, what should your reaction be?

イエスの誕生、生涯、死、そして復活について深く考えてみてください。これらすべてが、あなたがこのひどいこの世の生活を超えたものに希望を持てるようにと、あなたのために成されたのだとわかったとき、あなたはどのような反応を示すべきでしょうか。

75

Ⅱコリ 8:1～15 (新共同訳)

8:1 兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。

8:2 彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。

8:3 わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、

8:4 聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのでした。

8:5 また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、

8:6 わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。

Ⅱコリ 8:1～15 (口語訳)

8:1 兄弟たちよ。わたしたちはここで、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせよう。

8:2 すなわち、彼らは、患難のために激しい試練を受けたが、その満ちあふれる喜びは、極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て惜しみなく施す富となったのである。

8:3 わたしはあかしするが、彼らは力に応じて、否、力以上に施しをした。すなわち、自ら進んで、

8:4 聖徒たちへの奉仕に加わる恵みにあずかりたいと、わたしたちに熱心に願い出て、

8:5 わたしたちの希望どおりにしたばかりか、自分自身をまず、神のみこころにしたがって、主にささげ、また、わたしたちにもささげたのである。

8:6 そこで、この募金をテトスがあなたがたの所で、すでに始めた以上、またそれを完成するようにと、わたしたちは彼に勧めたのである。

8:7 あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。

8:8 わたしは命令としてこう言っているではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粋さを確かめようとして言うのです。

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。

8:10 この件についてわたしの意見を述べておきます。それがあなたがたの益になるからです。あなたがたは、このことを去年から他に先がけて実行したばかりでなく、実行したいと願ってもしました。

8:11 だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることで

す。

8:12 進んで行く気持があれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。

8:13 他の人々には楽をさせて、あなたがたに苦勞をかけるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。

8:14 あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。

8:15 「多く集めた者も、余ることはなく、わずかしが集めなかった者も、不足することはない」と書いてあるとおりです。

Ⅱコリ 9:5 (新共同訳)

9:5 そこで、この兄弟たちに頼んで一足先にそちらに行き、以前あなたがたが約束した贈り物の用意をしてもらうことが必要だと思いました。渋りながらではなく、惜しまず差し出したものとして用

8:7 さて、あなたがたがあらゆる事からについて富んでいるように、すなわち、信仰にも言葉にも知識にも、あらゆる熱情にも、また、あなたがたに対するわたしたちの愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富んでほしい。

8:8 こう言っても、わたしは命令するのではない。ただ、他の人たちの熱情によって、あなたがたの愛の純真さをためそうとするのである。

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。

8:10 そこで、わたしは、この恵みのわざについて意見を述べよう。それがあなたがたの益になるからである。あなたがたはこの事を、昨年以来、他に先んじて実行したばかりではなく、それを願っていた。

8:11 だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。

8:12 もし心から願ってそうするなら、持たないところによらず、持っているところによって、神に受け入れられるのである。

8:13 それは、ほかの人々に楽をさせて、あなたがたに苦勞をさせようとするのではなく、持ち物を等しくするためである。

8:14 すなわち、今の場合は、あなたがたの余裕があの人たちの欠乏を補い、後には、彼らの余裕があなたがたの欠乏を補い、こうして等しくなるようにするのである。

8:15 それは「多く得た者も余ることがなく、少ししか得なかった者も足りないことはなかった」と書いてあるとおりである。

Ⅱコリ 9:5 (口語訳)

9:5 だから、わたしは兄弟たちを促して、あなたがたの所へ先に行かせ、以前あなたがたが約束していた贈り物の準備をさせておくことが必要だと思った。それをしぶりながらではなく、心をこめて用意

意してもらうためです。

Ⅰコリ 16:1～4 (新共同訳)

16:1 聖なる者たちのための募金については、わたしがガラテヤの諸教会に指示したように、あなたがたも実行しなさい。
16:2 わたしがそちらに着いてから初めて募金が行われることのないように、週の初めの日にはいつも、各自収入に応じて、幾らかずつでも手もとに取って置きなさい。

16:3 そちらに着いたら、あなたがたから承認された人たちに手紙を持たせて、その贈り物を届けにエルサレムに行かせましょう。

16:4 わたしも行く方がよければ、その人たちはわたしと一緒にいくことになるでしょう。

ヨハ 17:5 (新共同訳)

17:5 父よ、今、御前でわたしに栄光を与えてください。世界が造られる前に、わたしがみもとで持っていたあの栄光を。

ルカ 9:58 (新共同訳)

9:58 イエスは言われた。「狐には穴があり、空の鳥には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。」

フィリ 2:7、8 (新共同訳)

2:7 かえって自分を無にして、僕の身分になり、人間と同じ者になられました。人間の姿で現れ、

2:8 へりくだって、死に至るまで、それも十字架の死に至るまで従順でした。

していてほしい。

Ⅰコリ 16:1～4 (口語訳)

16:1 聖徒たちへの献金については、わたしはガラテヤの諸教会に命じておいたが、あなたがたもそのとおりにしなさい。
16:2 一週の初めの日ごとに、あなたがたはそれぞれ、いくらでも収入に応じて手もとにたくわえておき、わたしが着いた時になって初めて集めることのないようにしなさい。

16:3 わたしが到着したら、あなたがたが選んだ人々に手紙をつけ、あなたがたの贈り物を持たせて、エルサレムに送り出すことにしよう。

16:4 もしわたしも行く方がよければ、一緒に行くことになるう。

ヨハ 17:5 (口語訳)

17:5 父よ、世が造られる前に、わたしがみそばで持っていた栄光で、今み前にわたしを輝かせて下さい。

ルカ 9:58 (口語訳)

9:58 イエスはその人に言われた、「きつねには穴があり、空の鳥には巣がある。しかし、人の子にはまくらする所がない」。

ピリ 2:7、8 (口語訳)

2:7 かえって、おのれをむなしくして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、

2:8 おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。

月曜日 9月7日 動機

問2 Ⅱコリント 8:1、5、9:7、9、13、15 を読んでください。これらの箇所の中心的なメッセージは何ですか。

Ⅱコリント8章と9章には、与えることに関する言葉があふれています。「与えられた神の恵み」(Ⅱコリ 8:1)、「彼らは……自分自身を献げた」〔口語訳「(彼らは)……自分自身を……ささげた」〕(同 8:5)、「各自……こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛して下さるからです」〔口語訳「各自は……自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さいるのである」〕(同 9:7)、「彼は

……貧しい人に施した」〔口語訳「彼は貧しい人たちに……与えた」〕(同 9:9)、「彼らは、……惜しまず施しを分けてくれることで、神をほめたたえます」〔口語訳「(彼らは)……惜しみなく施しをしていることがわかってきて、彼らは神に栄光を帰し」〕(同 9:13)、「言葉では言い尽くせない贈り物について神に感謝します」〔口語訳「言いつくせない賜物のゆえに、神に感謝する」〕(同 9:15)。Ⅱコリント8章と9章は、与えることに関する言葉で始まり、終わっているのです(同 8:1, 9:15)。私たちはこの二つの章を、与えるという概念を念頭に置いて読まねばなりません。そこには、私たちが献げ物をするおもな理由が、少なくとも四つ示されています。

神の恵みに対する感謝(Ⅱコリ8:1, 9:14, 15)。Ⅱコリント8～9章は、「神の恵み」(Ⅱコリ 8:1)への言及で始まっており、少し進んでパウロは、「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています」〔口語訳「あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている」〕(同 8:9)と言っています。ここでは、神とキリストの恵みが、ささげることの主要な理由として示されています。神はキリストを与えることによって、私たちのために多くのことをなしてくださいました。その応答として贈り物をささげるとき、自分の人生における神の恵みを認めることになるのです。

与えるという概念と同様に、「恵み」(ギリシア語で「カリス」)という言葉もⅡコリント8～9章に繰り返し登場します(同 8:1, 9:14, 15)。この箇所ではパウロは、私たちの人生におけるキリストの恵みが、他者への恵みや感謝につながることを強調するために、「カリス」をさまざまな意味で用いています。

イエスの模範に従いたいという願い(Ⅱコリ8:9)。イエスは豊かであったのに、貧しくなられました(イエスが永遠の昔から先在されたことと、人となられたとの象徴)。これを実現するには、イエスがすべてをお与えになるという、ただ一つの方法しかありませんでした。私たちは、自分の献げ物を分かち合うことで、他者がキリストを知るための手段を提供します。

神の祝福を分かち合いたいという願い(Ⅱコリ9:10, 11)。私たちが他者に与えるのは、まず私たちが神から受けたからにはかなりません。神は私たちを豊かにし、惜しみなく与えることができるようにしてくださいます。

純粋な愛(Ⅱコリ8:8, 24)。与えることは、純粋で誠実な愛の試金石です。それは、愛が心に宿っていることの最も確かな証拠です。

【参考】英語テキストにある英文

How generous are you? In light of the Cross, how much do you give in contrast to what you could give?

あなたはどれほど心が広いでしょうか。十字架を踏まえて、あなたが与えるべきものと比べて、実際にどれほど与えているでしょうか。

与えられた神の恵みについて知らせましょう。

8:2 彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。

8:3 わたしは証しますが、彼らは力に依じて、また力以上に、自分から進んで、

8:4 聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願ひ出たのでした。

8:5 また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心によってわたしたちにも自分自身を献げたので、

8:6 わたしたちはテトスに、この慈善の業をあなたがたの間で始めたからには、やり遂げるようにと勧めました。

8:7 あなたがたは信仰、言葉、知識、あらゆる熱心、わたしたちから受ける愛など、すべての点で豊かなのですから、この慈善の業においても豊かな者となりなさい。

8:8 わたしは命令としてこう言っているのではありません。他の人々の熱心に照らしてあなたがたの愛の純粋さを確かめようとして言うのです。

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。

8:10 この件についてわたしの意見を述べておきます。それがあなたがたの益になるからです。あなたがたは、このことを去年から他に先がけて実行したばかりでなく、実行したいと願ってもしました。

8:11 だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったとおりに、自分が持っているものでやり遂げることで

ケドニヤの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせよう。

8:2 すなわち、彼らは、患難のために激しい試練を受けたが、その満ちあふれる喜びは、極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て惜しみなく施す富となったのである。

8:3 わたしはあかしするが、彼らは力に依じて、否、力以上に施しをした。すなわち、自ら進んで、

8:4 聖徒たちへの奉仕に加わる恵みにあずかりたいと、わたしたちに熱心に願ひ出て、

8:5 わたしたちの希望どおりにしたばかりか、自分自身をまず、神のみこころにしたがって、主にささげ、また、わたしたちにもささげたのである。

8:6 そこで、この募金をテトスがあなたがたの所で、すでに始めた以上、またそれを完成するようにと、わたしたちは彼に勧めたのである。

8:7 さて、あなたがたがあらゆる事らについて富んでいるように、すなわち、信仰にも言葉にも知識にも、あらゆる熱情にも、また、あなたがたに対するわたしたちの愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富んでほしい。

8:8 こう言っても、わたしは命令するのではない。ただ、他の人たちの熱情によって、あなたがたの愛の純真さをためそうとするのである。

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。

8:10 そこで、わたしは、この恵みのわざについて意見を述べよう。それがあなたがたの益になるからである。あなたがたはこの事を、昨年以來、他に先んじて実行したばかりではなく、それを願っていた。

8:11 だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。

8:12 進んで行く気持ちがあれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。

8:13 他の人々には楽をさせて、あなたがたに苦勞をかけるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。

8:14 あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。

8:15 「多く集めた者も、余ることはなく、わずかしかが集めなかった者も、不足することはない」と書いてあるとおりです。

8:16 あなたがたに対してわたしたちが抱いているのと同じ熱心を、テトスの心にも抱かせてくださった神に感謝します。

8:17 彼はわたしたちの勧告を受け入れ、ますます熱心に、自ら進んでそちらに赴こうとしているからです。

8:18 わたしたちは一人の兄弟を同伴させます。福音のことで至るところの教会で評判の高い人です。

8:19 そればかりではありません。彼はわたしたちの同伴者として諸教会から任命されたのです。それは、主御自身の栄光と自分たちの熱意を現すようにわたしたちが奉仕している、この慈善の業に加わるためでした。

8:20 わたしたちは、自分が奉仕しているこの惜しまず提供された募金について、だれからも非難されないようにしています。

8:21 わたしたちは、主の前だけではなく、人の前でも公明正大にふるまうように心がけています。

8:22 彼らにもう一人わたしたちの兄弟を同伴させます。この人が熱心であることは、わたしたちがいろいろな機会にしばしば実際に認めたところです。今、彼はあなたがたに厚い信頼を寄せ、ますます熱心になっています。

8:23 テトスについて言えば、彼はわたしの同志であり、あなたがたのために協力

8:12 もし心から願ってそうするなら、持たないところによらず、持っているところによって、神に受け入れられるのである。

8:13 それは、ほかの人々に楽をさせて、あなたがたに苦勞をさせようとするのではなく、持ち物を等しくするためである。

8:14 すなわち、今の場合は、あなたがたの余裕があの人たちの欠乏を補い、後には、彼らの余裕があなたがたの欠乏を補い、こうして等しくなるようにするのである。

8:15 それは「多く得た者も余ることがなく、少ししか得なかった者も足りないことはなかった」と書いてあるとおりである。

8:16 わたしがあなたがたに対して持っている同じ熱情を、テトスの心にも与えて下さった神に感謝する。

8:17 彼はわたしの勧めを受け入れ、そして更に熱心になって、自分から進んであなたがたのところに行った。

8:18 わたしたちはまた、テトスと一緒に、ひとりの兄弟を送る。この兄弟が福音宣伝の上で得たほまれは、すべての教会に聞えているが、

8:19 そのうえ、彼は、主ご自身の栄光があらわれるため、また、わたしたちの好意を示すために、骨を折って贈り物を集めているわたしたちの同伴者として、諸教会から選ばれたのである。

8:20 そうしたのは、わたしたちが集めているこの寄附金のことについて、人にかれこれ言われるのを避けるためである。

8:21 わたしたちは、主のみまえばかりではなく、人の前でも公正であるように、気を配っているのである。

8:22 また、もうひとりの兄弟を彼らと一緒に送る。わたしたちは、多くの事について彼が熱心であったことを、たびたび認めた。彼は今、あなたがたを非常に信頼して、ますます熱心になっている。

8:23 テトスについて言えば、彼はわたしの仲間であり、あなたがたに対するわた

する者です。これらの兄弟について言えば、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光となっています。

8:24 だから、あなたがたの愛の証しと、あなたがたのことでわたしたちが抱いている誇りの証しとを、諸教会の前で彼らに見せてください。

Ⅱコリ 9 章 (新共同訳)

9:1 聖なる者たちへの奉仕について、これ以上書く必要はありません。

9:2 わたしはあなたがたの熱意を知っているので、アカイア州では去年から準備ができていてと言って、マケドニア州の人々にあなたがたのことを誇りました。あなたがたの熱意は多くの人々を奮い立たせたのです。

9:3 わたしが兄弟たちを派遣するのは、あなたがたのことでわたしたちが抱えている誇りが、この点で無意味なものにならないためです。また、わたしが言ったとおり用意してもらいたいためです。

9:4 そうでないと、マケドニア州の人々がわたしと共に行って、まだ用意のできていないのを見たら、あなたがたはもちろん、わたしたちも、このように確信しているだけに、恥をかくことになりかねないからです。

9:5 そこで、この兄弟たちに頼んで一足先にそちらに行って、以前あなたがたが約束した贈り物の用意をしてもらうことが必要だと思いました。渋りながらではなく、惜しまず差し出したものとして用意してもらうためです。

9:6 つまり、こういうことです。惜しんでわずかしき種を蒔かない者は、刈り入れもわずかで、惜しまず豊かに蒔く人は、刈り入れも豊かなのです。

9:7 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

9:8 神は、あなたがたがいつもすべての点ですべてのものに十分に、あらゆる善い業に満ちあふれるように、あらゆる恵みをあなたがたに満ちあふれさせること

しの協力者である。この兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光である。

8:24 だから、あなたがたの愛と、また、あなたがたについてわたしたちがいだいている誇りとが、真実であることを、諸教会の前で彼らにあかししていただきたい。

Ⅱコリ 9 章 (口語訳)

9:1 聖徒たちに対する援助については、いまさら、あなたがたに書きおくる必要はない。

9:2 わたしは、あなたがたの好意を知っており、そのために、あなたがたのことをマケドニアの人々に誇って、アカヤでは昨年以來、すでに準備をしているのだと言った。そして、あなたがたの熱心は、多くの人を奮起させたのである。

9:3 わたしが兄弟たちを送ることにしたのは、あなたがたについてわたしたちの誇ったことが、この場合むなしくならないで、わたしが言ったとおり準備してもらいたいからである。

9:4 そうでないと、万一マケドニア人がわたしと一緒に行って、準備ができていないのを見たら、あなたがたはもちろん、わたしたちも、かように信じきっていただけに、恥をかくことになろう。

9:5 だから、わたしは兄弟たちを促して、あなたがたの所へ先に行かせ、以前あなたがたが約束していた贈り物の準備をさせておくことが必要だと思った。それをしぶりながらではなく、心をこめて用意してほしい。

9:6 わたしの考えはこうである。少ししかまかない者は、少ししか刈り取らず、豊かにまく者は、豊かに刈り取ることになる。

9:7 各自は惜しむ心からでなく、また、しいられてでもなく、自ら心に決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さるのである。

9:8 神はあなたがたにあらゆる恵みを豊かに与え、あなたがたを常にすべてのことに満ち足らせ、すべての良いわざに富ませる力のあるかたなのである。

がおできになります。

9:9「彼は惜しみなく分け与え、貧しい人に施した。彼の慈しみは永遠に続く」と書いてあるとおりです。

9:10 種を蒔く人に種を与え、パンを糧としてお与えになる方は、あなたがたに種を与えて、それを増やし、あなたがたの慈しみが結が実を成長させてくださいます。

9:11 あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、その施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。

9:12 なぜなら、この奉仕の働きは、聖なる者たちの不足しているものを補うばかりでなく、神に対する多くの感謝を通してますます盛んになるからです。

9:13 この奉仕の業が実際に行われた結果として、彼らは、あなたがたがキリストの福音を従順に公言していること、また、自分たちや他のすべての人々に惜しまず施しを分けてくれることで、神をほめたたえます。

9:14 更に、彼らはあなたがたに与えられた神のこの上なくすばらしい恵みを見て、あなたがたを慕い、あなたがたのために祈るのです。

9:15 言葉では言い尽くせない贈り物について神に感謝します。

I コリ 15:52 (新共同訳)

15:52 最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。

9:9「彼は貧しい人たちに散らして与えた。その義は永遠に続くであろう」と書いてあるとおりである。

9:10 種まく人に種と食べるためのパンとを備えて下さるかたは、あなたがたにも種を備え、それをふやし、そしてあなたがたの義の実を増して下さるのである。

9:11 こうして、あなたがたはすべてのことに豊かになって、惜しみなく施し、その施しはわたしたちの手によって行われ、神に感謝するに至るのである。行われ、神に感謝するに至るのである。

9:12 なぜなら、この援助の働きは、聖徒たちの欠乏を補うだけではなく、神に対する多くの感謝によってますます豊かになるからである。

9:13 すなわち、この援助を行った結果として、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であることや、彼らにも、すべての人にも、惜しみなく施しをしていることがわかってきて、彼らは神に栄光を帰し、

9:14 そして、あなたがたに賜わったきわめて豊かな神の恵みのゆえに、あなたがたを慕い、あなたがたのために祈るのである。

9:15 言いつくせない賜物のゆえに、神に感謝する。

I コリ 15:52 (口語訳)

15:52 というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によみがえらせられ、わたしたちは変えられるのである。

火曜日 9月8日 計画

問3 IIコリント 9:7 を読んでください。この聖句は、ささげるという行為について、何と述べていますか。

この世を救うという神の決断は、世が罪に堕ちる前になされました。キリストが私たちに代わって死ぬために来られたのは、はるか昔からの計画の一部でした(黙13:8)。神は予期せぬ事態に直面されたものではありません。イエスを通してご自分

を与える計画を、すでに立てておられたのです。Ⅱコリント8章と9章において、計画は、与えるという行為に関わる重要な神学的原則です。このことは少なくとも二つの点から理解できます。

第一に、**計画には事前の決断が伴います**。パウロは、「各自、……こうしようと心に決めたとおりにしなさい」〔口語訳「各自……自ら心で決めたとおりにすべきである」〕(Ⅱコリ 9:7)と言っています。「決めた」と訳されているギリシア語は、動詞の「プロアイレオー」です。この動詞は複合語で、接頭辞の「プロ」は、「あらかじめ」または「前もって」という意味であり、「アイレオー」は、この文脈では、「決める」という意味です。つまり「プロアイレオー」は、事前に下された決断を指します。またパウロは、「各自」という言葉で書き始めることで、ささげる金額が一人ひとり異なることを暗示しています。彼が伝えたいのは、何を〔どれほど〕与えようと決断するにしても、よく考えたうえでそうすべきだということです。自分にとって適切だと思う金額をささげるべきなのです。

第二に、**計画には相応性の原則が伴います**。パウロは、マケドニア州の信徒が「力にに応じて」(Ⅱコリ 8:3)ささげたと報告し、次にこの相応性の原則をコリントの信徒にも適用します。パウロは、彼らがすでに約束した務めを果たすよう励ましつつ、持っている資源を用いてその計画をやり遂げなさいと強く勧めているのです(同 8:11)。そしてこの考えを、献金は、「持たないものではなく、持っているものにに応じて」〔口語訳「持たないところによらず、持っているところによって」〕(同 8:12)ささげるべきだと述べて締めくくっています。聖書は什一の割合(10パーセント)を定めていますが、献金には同じ原則は適用されません。「各自、……こうしようと心に決めたとおりにしなさい」〔口語訳「各自……自ら心で決めたとおりにすべきである」〕(同 9:7)と、相応性の原則を適用しています。言い換えれば、献金として収入の何パーセントをささげるのかは、各自が決めることであり、それぞれ自分の持っているものにに応じてささげるべきなのです。これは計画なしにはできません。

裕福であっても貧しくても、あなたは什一や献金にいかにか忠実ですか。もっとささげられるのに、どんな言い訳をしてためらってしまうことがありますか。

77

Ⅱコリ 9:7 (新共同訳)

9:7 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

黙 13:8 (新共同訳)

13:8 地上に住む者で、天地創造の時から、屠られた小羊の命の書にその名が記されていない者たちは皆、この獣を拝むであろう。

Ⅱコリ 9:7 (口語訳)

9:7 各自は惜しむ心からでなく、また、いられてでもなく、自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さるのである。

黙 13:8 (口語訳)

13:8 地に住む者で、ほふられた小羊のいのちの書に、その名を世の初めからしるされていない者はみな、この獣を拝むであろう。

Ⅱコリ 8:3 (新共同訳)

8:3 わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、

Ⅱコリ 8:11、12 (新共同訳)

8:11 だから、今それをやり遂げなさい。進んで実行しようと思ったおりに、自分が持っているものでやり遂げることで

す。
8:12 進んで行く気持があれば、持たないものではなく、持っているものに応じて、神に受け入れられるのです。

Ⅱコリ 8:3 (口語訳)

8:3 わたしはあかしするが、彼らは力に応じて、否、力以上に施しをした。すなわち、自ら進んで、

Ⅱコリ 8:11、12 (口語訳)

8:11 だから今、それをやりとげなさい。あなたがたが心から願っているように、持っているところに応じて、それをやりとげなさい。

8:12 もし心から願ってそうするなら、持たないところによらず、持っているところによって、神に受け入れられるのである。

水曜日 9月9日 姿勢

問4 Ⅱコリント 8:1～5 を読んでください。マケドニア州の信徒がこれほど惜しみなく献金をささげた背景には、どんな理由があったのでしょうか。

マケドニアの信徒の前向きな姿勢は、いくつかの点から見ることができます。

第一に、**彼らは満ち満ちた喜びから与えました(Ⅱコリ8:2)**。パウロは、彼らの「満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなった」**〔口語訳「満ちあふれる喜びは、極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て惜しみなく施す富となったのである」**(同 8:2)と述べており、のちに、「喜んで与える人を神は愛してくださる」**〔口語訳「神は喜んで施す人を愛して下さる」**(同 9:7)とも言っています。「喜んで」と訳されているギリシア語は、新約聖書の中でここにしか出てきませんが、同じ系統の言葉は、ほかの箇所にも登場します。「慈善を行う人は、快く行いなさい」**〔口語訳「慈善をする者は快く慈善をすべきである」**(ロマ 12:8)。

次に、**彼らは惜しまず与えました(Ⅱコリ8:2)**。パウロは、マケドニアの信徒の惜しみない施しについて述べる前に、彼らの「極度の貧しさ」に言及しています。「惜しみない施し」(ギリシア語で「ハプロテーツス」という言葉は、Ⅱコリント8章と9章でさらに2回登場します。パウロは、「あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになる」**〔口語訳「あなたがたはすべてのことに豊かになって、惜しみなく施し(ます)」**(Ⅱコリ 9:11)と述べており、その意味は、私たちは施すために与えられるのだということです。その先で、「惜しみなく施しを分け(る)」**〔口語訳「惜しみなく施しをしている」**(同 9:13)とも述べています。惜しみなく与えることは、キリストの福音を告白する一つの方法なのです。

第三に、**彼らは「自分から進んで(自ら進んで)」(Ⅱコリ8:3)与えました**。これは、彼らが自発的にささげたことを意味します。彼らの資産は極めて限られており、有り余るものの中からささげたのではないことを考えると、一層称賛に値するでしょう。パウロは、テトスが自ら進んでコリントの信徒を訪問したことを説明する際に

も、同じ考えを用いています。彼は自発的にコリントへ行ったのです(同 8:17)。

第四に、**彼らはささげることを特権と見なして与えました(Ⅱコリ8:4)**。この姿勢は、マケドニアの信徒が募金への参加を願い出たことに見て取れます。彼らは、「慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのです」〔口語訳「奉仕に加わる恵みにあずかりたいと、わたしたちに熱心に願い出(ました)」〕(同 8:4)。

最後に、**彼らは全的献身の行為として募金に参加しました(Ⅱコリ8:5)**。パウロは、「彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げた」〔口語訳「自分自身をまず、神のみこころにしたがって、主にささげ、また、わたしたちにもささげた」〕(同 8:5)と述べています。主に自分をささげることは、他者に自分をささげるにつながります。マケドニアの信徒は、財政的な支援にとどまらず、宣教への関わりをさらに広げていきました。つまり、与えることや惜しまず施すことは、金銭だけに限定されるものではないのです。

78

Ⅱコリ 8:1～5 (新共同訳)

8:1 兄弟たち、マケドニア州の諸教会に与えられた神の恵みについて知らせましょう。

8:2 彼らは苦しみによる激しい試練を受けていたのに、その満ち満ちた喜びと極度の貧しさがあふれ出て、人に惜しまず施す豊かさとなったということです。

8:3 わたしは証しますが、彼らは力に応じて、また力以上に、自分から進んで、

8:4 聖なる者たちを助けるための慈善の業と奉仕に参加させてほしいと、しきりにわたしたちに願い出たのです。

8:5 また、わたしたちの期待以上に、彼らはまず主に、次いで、神の御心にそってわたしたちにも自分自身を献げたので、

Ⅱコリ 9:7 (新共同訳)

9:7 各自、不承不承ではなく、強制されてでもなく、こうしようと心に決めたとおりにしなさい。喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

ロマ 12:8 (新共同訳)

12:8 勧める人は勧めに精を出しなさい。施しをする人は惜しまず施し、指導する人は熱心に指導し、慈善を行う人は快く行いなさい。

Ⅱコリ 9:11、13 (新共同訳)

9:11 あなたがたはすべてのことに富む者とされて惜しまず施すようになり、そ

Ⅱコリ 8:1～5 (口語訳)

8:1 兄弟たちよ。わたしたちはここで、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせよう。

8:2 すなわち、彼らは、患難のために激しい試練を受けたが、その満ちあふれる喜びは、極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て惜しみなく施す富となったのである。

8:3 わたしはあかしするが、彼らは力に応じて、否、力以上に施しをした。すなわち、自ら進んで、

8:4 聖徒たちへの奉仕に加わる恵みにあずかりたいと、わたしたちに熱心に願い出て、

8:5 わたしたちの希望どおりにしたばかりか、自分自身をまず、神のみこころにしたがって、主にささげ、また、わたしたちにもささげたのである。

Ⅱコリ 9:7 (口語訳)

9:7 各自は惜しむ心からでなく、また、しいられてでもなく、自ら心で決めたとおりにすべきである。神は喜んで施す人を愛して下さるのである。

ロマ 12:8 (口語訳)

12:8 勧めをする者であれば勧め、寄附する者は惜しみなく寄附し、指導する者は熱心に指導し、慈善をする者は快く慈善をすべきである。

Ⅱコリ 9:11、13 (口語訳)

9:11 こうして、あなたがたはすべてのことに豊かになって、惜しみなく施し、そ

の施しは、わたしたちを通じて神に対する感謝の念を引き出します。

9:13 この奉仕の業が実際に行われた結果として、彼らは、あなたがたがキリストの福音に従順に公言していること、また、自分たちや他のすべての人々に惜しまず施しを分けてくれることで、神をほめたたえます。

Ⅱコリ 8:17 (新共同訳)

8:17 彼はわたしたちの勧告を受け入れ、ますます熱心に、自ら進んでそちらに赴こうとしているからです。

の施しはわたしたちの手によって行われ、神に感謝するに至るのである。

9:13 すなわち、この援助を行った結果として、あなたがたがキリストの福音の告白に対して従順であることや、彼らにも、すべての人にも、惜しみなく施しをしていることがわかってきて、彼らは神に栄光を帰し、

Ⅱコリ 8:17 (口語訳)

8:17 彼はわたしの勧めを受け入れ、そして更に熱心になって、自分から進んであなたがたのところに行った。

木曜日 9月10日 一致

私たちはここまで、パウロがコリントの教会員に、ユダヤの貧しい諸教会のための募金に参加するよう勧めているのを見てきました。彼の目的の一つは、一致の意識を喚起することでした。パウロは、彼らが宣教活動に参加し、その一部となることを望んでいました。異邦人の諸教会も、エルサレムのユダヤ人信者と同じ神の家族の一員であることを示したかったのです。つまり、かつてユダヤ人に敵対していた人々が、今や神の新しい契約の残りの民として、彼らと同じ仲間であるということです。パウロは、ユダヤ人と異邦人から成るクリスチャンの家族全体が力強く一致し、将来の世代に教会の証しとなることを願っていました。

テトスと評判の高い2人の兄弟は金銭の管理を任されました。神はテトスの心に、教会に対する熱心な思いを抱かせ(Ⅱコリ 8:16)、教会を通して、ほかの2人の兄弟をお選びになりました(同 8:18~23)。彼らは、「諸教会の使者」「キリストの栄光」(同 8:23)と呼ばれています。「キリストの栄光」という言葉がこの2人の忠実な兄弟を指すのか、諸教会そのものを指しているのかは、問題ではありません。献金をささげることが、究極的には、教会の頭なるキリストに対する忠誠のしるしなのです(エフェ[エペ] 4:15)。

Ⅱコリント 8~9 章は、献金は教会を通して神によって任命された人々に託されるべきだと暗に示しています。「至るところの教会」[口語訳「すべての教会」](Ⅱコリ 8:18)、「諸教会から任命された」[口語訳「諸教会から選ばれた」](同 8:19)、「諸教会の使者」(同 8:23)という表現は、まさにそのことを示唆しています。ですから、「あなたがたの愛の証し……を、諸教会の前で彼らに見せてください」[口語訳「あなたがたの愛……を、諸教会の前で彼らにあかししていただきたい」](同 8:24)という勧めが次になされているのも、驚くにあたりません。

神が地上に設けられた器である教会に献金を携えて来ることは、一致を促進すると同時に、一致の意識のあらわれです(Ⅱコリ 8:13, 14)。金銭は、大きな致をもたらすものになりえます。しかし一方で、信徒の目が誠実に神の栄光に向けられていなければ、分裂を生み出すこともあります。

問5 ローマ 15:26、27 は、ここでの一致に対するパウロの願いを、いかに明らかにしていますか。Ⅱコリント7章を読んでください。コリントの信徒が悔い改めたことを聞いたパウロは、どんな気持ちになりましたか。

最後に、パウロは献金することを、奉仕または援助、恵みの行為、祝福、礼拝行為、交わりとして描いています。これらすべてが献金から生じるのでしょうか。考えてみてください。

【参考】英語テキストにある英文

How does our giving to fellow churches and missions overseas, often in faraway places, help bring unity to our world church?

遠く離れたところにある教会や海外の宣教団体へ私たちが献金することは、どのようにして世界教会の一致をもたらすのに役立つのでしょうか。

79

Ⅱコリ 8:13～24 (新共同訳)

8:13 他の人々には楽をさせて、あなたがたに苦勞をかけるということではなく、釣り合いがとれるようにするわけです。

8:14 あなたがたの現在のゆとりが彼らの欠乏を補えば、いつか彼らのゆとりもあなたがたの欠乏を補うことになり、こうして釣り合いがとれるのです。

8:15 「多く集めた者も、余ることはなく、わずかしが集めなかった者も、不足することはなかった」と書いてあるとおりです。

8:16 あなたがたに対してわたしたちが抱いているのと同じ熱心を、テトスの心にも抱かせてくださった神に感謝します。

8:17 彼はわたしたちの勧告を受け入れ、ますます熱心に、自ら進んでそちらに赴こうとしているからです。

8:18 わたしたちは一人の兄弟を同伴させます。福音のことで至るところの教会で評判の高い人です。

8:19 そればかりではありません。彼はわたしたちの同伴者として諸教会から任命されたのです。それは、主御自身の栄光と自分たちの熱意を現すようにわたしたちが奉仕している、この慈善の業に加わるためでした。

Ⅱコリ 8:13～24 (口語訳)

8:13 それは、ほかの人々に楽をさせて、あなたがたに苦勞をさせようとするのではなく、持ち物を等しくするためである。

8:14 すなわち、今の場合は、あなたがたの余裕があの人たちの欠乏を補い、後には、彼らの余裕があなたがたの欠乏を補い、こうして等しくなるようにするのである。

8:15 それは「多く得た者も余ることがなく、少ししか得なかった者も足りないことはなかった」と書いてあるとおりである。

8:16 わたしがあなたがたに対して持っている同じ熱情を、テトスの心にも与えて下さった神に感謝する。

8:17 彼はわたしの勧めを受け入れ、そして更に熱心になって、自分から進んであなたがたのところに行った。

8:18 わたしたちはまた、テトスと一緒に、ひとりの兄弟を送る。この8:弟が福音宣伝の上で得たほまれは、すべての教会に聞えているが、

8:19 そのうえ、彼は、主ご自身の栄光があらわれるため、また、わたしたちの好意を示すために、骨を折って贈り物を集めているわたしたちの同伴者として、諸教会から選ばれたのである。

8:20 わたしたちは、自分が奉仕しているこの惜しまず提供された募金について、だからからも非難されないようにしています。

8:21 わたしたちは、主の前だけではなく、人の前でも公明正大にふるまうように心がけています。

8:22 彼らにもう一人わたしたちの兄弟を同伴させます。この人が熱心であることは、わたしたちがいろいろな機会にしばしば実際に認めたところです。今、彼はあなたがたに厚い信頼を寄せ、ますます熱心になっています。

8:23 テトスについて言えば、彼はわたしの同志であり、あなたがたのために協力する者です。これらの兄弟について言えば、彼らは諸教会の使者であり、キリストの栄光となっています。

8:24 だから、あなたがたの愛の証しと、あなたがたのことでわたしたちが抱いている誇りの証しとを、諸教会の前で彼らに見せてください。

エフェ 4:15 (新共同訳)

4:15 むしろ、愛に根ざして真理を語り、あらゆる面で、頭であるキリストに向かって成長していきます。

ロマ 15:26、27 (新共同訳)

15:26 マケドニア州とアカイア州の人々が、エルサレムの聖なる者たちの中の貧しい人々を援助することに喜んで同意したからです。

15:27 彼らは喜んで同意しましたが、実はそうする義務もあるのです。異邦人はその人たちの霊的なものにあずかったのですから、肉のもので彼らを助ける義務があります。

8:20 そうしたのは、わたしたちが集めているこの寄附金のことについて、人にかれこれ言われるのを避けるためである。

8:21 わたしたちは、主のみまえばかりではなく、人の前でも公正であるように、気を配っているのである。

8:22 また、もうひとりの兄弟を彼らと一緒に送る。わたしたちは、多くの事について彼が熱心であったことを、たびたび認めた。彼は今、あなたがたを非常に信頼して、ますます熱心になっている。

8:23 テトスについて言えば、彼はわたしの仲間であり、あなたがたに対するわたしの協力者である。この兄弟たちについて言えば、彼らは諸教会の使者、キリストの栄光である。

8:24 だから、あなたがたの愛と、また、あなたがたについてわたしたちがいだっている誇りとが、真実であることを、諸教会の前で彼らにあかししていただきたい。

エペ 4:15 (口語訳)

4:15 愛にあって真理を語り、あらゆる点において成長し、かしらなるキリストに達するのである。

ロマ 15:26、27 (口語訳)

15:26 なぜなら、マケドニアとアカヤとの人々は、エルサレムにおける聖徒の中の貧しい人々を援助することに賛成したからである。

15:27 たしかに、彼らは賛成した。しかし同時に、彼らはかの人々に負債がある。というのは、もし異邦人が彼らの霊の物にあずかったとすれば、肉の物をもって彼らに仕えるのは、当然だからである。

金曜日 9月11日 さらなる研究

参考資料として、『患難から栄光へ』第32章「豊かにまく者は豊かに刈り取る」を読んでください。

「心がキリストの愛で満たされている人々は、ご自身の貧しさによってわれわれが富む者となるように、われわれのために貧しくなられたキリストの模範に従う。金銭、

時間、感化力など、神のみ手から授けられた賜物すべてを、彼らはただ福音の業を進展させる手段として重んじるのである。……今日も、教会の中で、教会員たちが聖霊の力に導かれて、世俗的な事柄への愛着を捨て、自分たちの同胞に福音を伝えるために、喜んで犠牲を払うことが見られるならば、宣べ伝えられる真理は、聞く者の心を力強く動かすであろう」(『希望への光』1382、1383 ページ、『患難から栄光へ』第7章)。

「主は私たちの献金を必要としておられるのではない。私たちは献げものによって神を富ますことはできない。『すべてはあなたからいただいたもの、わたしたちは御手から受け取って、差し出したにすぎません』と、詩編記者は言っている。しかし神は、私たちが自分の受けた神の憐れみを他の人々に伝えるために自己犠牲的な努力を払って、その感謝を表すことをお許しになっておられる。これが神に対する感謝と愛を表すことのできる、私たちに神が備えられる唯一の方法である」(『祝福に満ちた生活——スチュワードシップに関する勧告』18、19 ページ)。

「神が人間に与えられた賜物は、なんとすばらしく、なんと私たちの神としてふさわしい贈り物であろうか。神は、反抗的な人間の子らを救い、ご自分の目的を悟らせ、ご自分の愛に気づかせるために、決して超えることのできない寛大さをもってお与えになったのである。あなたは、自分の賜物と献げ物によって、『独り子を信じる者が一人も滅びることなく、永遠の命を得るため』に与えてくださった神に対して、いかなるものも惜しまないという姿勢を示すであろうか」(『アドベント・レビュー・アンド・サバス・ヘラルド』1900年5月15日号、英文)。

【参考】—— Ellen G. White, in The Advent Review and Sabbath Herald, May 15, 1900.

“How great was the gift of God to man, and how like our God to make it! With a liberality that can never be exceeded he gave, that he might save the rebellious sons of men and bring them to see his purpose and discern his love. Will you, by your gifts and offerings, show that you think nothing too good for Him who ‘gave his only begotten Son that whosoever believeth in him should not perish, but have everlasting life’?”

話し合いのための質問

- ① IIコリント 8:9 について、さらにじっくり考えてみてください。イエスの模範は、管理の務めに関して、なぜ重要なのですか。

【参考】英語テキストにある②を記載します。

John 3:16 hints that the language of heaven is one of giving. Read John 15:13; Ephesians 5:2, 25; Galatians 2:19, 20; and 1 John 3:16. What do these passages and John 3:16 have in common, and what message can we take from them?

ヨハネ 3:16 は、天国の基本的価値観は、「与えること」であると示唆しています。
[※今週のテーマ(p.74)を参照してください] ヨハネ 15:13、エフェソ(エペソ) 5:2、25、ガラテヤ 2:19、20、そして I ヨハネ 3:16 を読んでください。これらの箇所とヨハネ 3:16 にはどのような共通点があり、そこからどのようなメッセージを受け取ることができるでしょうか。

- ② IIコリント 8～9 章の内容を踏まえると、与えることの個人的な利益は何でしょうか。
- ③ 計画的な献金に加えて、イエスの自己犠牲の模範に倣うため、ほかにどんなことができるでしょうか。

80

【参考】副読本にある《概要》を転載します。

管理と伝道使命は、コインの二つの面のように切り離せないものとして、密接に結びついているということを、聖書は私たちに教えています。これはイエスの生涯に明確に見ることができます。イエスは申し分のない管理者であり、伝道者でした。イエスは、私たちを救うために、御自身の命を含め、すべてを捧げてくださいました。愛のゆえにそうしてくださいましたのです。

パウロは、献金の行為は神の恵みと愛に基づいていると教えています。神の恵みと愛が、与える動機でなければなりません。また、人が罪に陥ったとき、神は不意を突かれなかったことを、パウロはほのめかしています(IIコリント8:9)。神にはご計画がありました(黙示録13:8)。イエスと共に、私たちは、計画が管理者の生活において重要な要素であることを学びます。わたしたちの献金は計画的で、収入に比例して行われなければなりません。与えることは、喜びと寛大さ、そして自発的な意思をもってなされるべきです。さらに、私たちが捧げることは特権であり、教会内の一致を促進するものであるという意識を持って捧げることを、神は望んでおられます。

IIコリ 8:9 (新共同訳)

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。

ヨハ 3:16 (新共同訳)

3:16 神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハ 15:13 (新共同訳)

15:13 友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。

エペ 5:2、25 (新共同訳)

5:2 キリストがわたしたちを愛して、御自分を香りのよい供え物、つまり、いけにえとしてわたしたちのために神に献げてくださったように、あなたがたも愛によって歩みなさい。

5:25 夫たちよ、キリストが教会を愛し、教会のために御自分をお与えになったように、妻を愛しなさい。

IIコリ 8:9 (口語訳)

8:9 あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っている。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、あなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである。

ヨハ 3:16 (口語訳)

3:16 神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。

ヨハ 15:13 (口語訳)

15:13 人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

エペ 5:2、25 (口語訳)

5:2 また愛のうちは歩きなさい。キリストもあなたがたを愛して下さって、わたしたちのために、ご自身を、神へのかんばしいかおりのささげ物、また、いけにえとしてささげられたのである。

5:25 夫たる者よ。キリストが教会を愛してそのためにご自身をささげられたように、妻を愛しなさい。

ガラ 2:19、20 （新共同訳）

2:19 わたしは神に対して生きるために、律法に対しては律法によって死んだのです。わたしは、キリストと共に十字架につけられています。

2:20 生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。わたしが今、肉において生きているのは、わたしを愛し、わたしのために身を献げられた神の子に対する信仰によるものです。

I ヨハ 3:16 （新共同訳）

3:16 イエスは、わたしたちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、わたしたちは愛を知りました。だから、わたしたちも兄弟のために命を捨てるべきです。

ガラ 2:19、20 （口語訳）

2:19 わたしは、神に生きるために、律法によって律法に死んだ。わたしはキリストと共に十字架につけられた。

2:20 生きているのは、もはや、わたしではない。キリストが、わたしのうちに生きておられるのである。しかし、わたしがいま肉にあって生きているのは、わたしを愛し、わたしのためにご自身をささげられた神の御子を信じる信仰によって、生きているのである。

I ヨハ 3:16 （口語訳）

3:16 主は、わたしたちのためにいのちを捨てて下さった。それによって、わたしたちは愛ということを知った。それゆえに、わたしたちもまた、兄弟のためにいのちを捨てるべきである。